

岳洋学舎だより

令和5年10月号

目指す子ども像『自信をもち自分の力を発揮する子』（岳洋中、北小、東小、南小）

小中学校間のたての接続

岳洋学舎合同研修会で活発な意見交換

岳洋学舎合同研修会が、9月27日に小笠北小学校で開催されました。この研修会は、岳洋学舎を構成している岳洋中と小笠北小、小笠東小、小笠南小の4校の教職員が、授業での子どもの姿を通して、学舎共通の取組の成果と課題について話し合い、たての接続（小中一貫教育）を充実させることをねらいとしています。

公開された授業は、1年生の算数と6年生の理科、すまいる1組の生活単元です。子どもたちは、学習問題に対して、自分の考えと友達のを比べ、具体的な操作活動等を通して、自らの考えを深めていました。「わかった」の笑顔がたくさん見られた授業でした。

分科会では、校種を超えた教職員が、小中9年間を見通した意見交換を活発に行い、学舎の子どもたちのよさと身に付けてきた力を確かめ合いました。

岳洋中学校の山崎校長は、子どもの学びに向かう力を高める鍵が、「その教科を好きになること」と考え、そのための手立てである「魅力ある学習問題や目を輝かせる体験学習、ワクワクする討論会、ICTの活用による興味向上、主体的・対話的で深い学び」を重視した授業づくりに努めたいと語っていました。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるように、岳洋学舎の先生方は、スクラムを組んでよりよい授業づくりに向けて頑張っています。



1年算数 より簡単に計算できるやり方を考える。



6年理科 「小さな力で重い物を持ち上げる力点の位置を調べる」



すまいる1組 生活単元 「ボールを早く運ぶ方法を友達と一緒に考え、障害物コースに挑戦する。」



グループ協議 「9年間の系統的な指導により、実社会で活用できる力が伸びているか話し合う。」

令和6年度から コミュニティ・スクールがスタートします！

『コミュニティ・スクール』とは、**学校運営協議会**を設置した学校をいいます。コミュニティ・スクールの理念は、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」です。学校・家庭・地域が目標を共有し、一体となって地域の子どもたちを育てていきます。このことは、子どもたちの豊かな学びとともに、そこに関わる大人たちの成長や充足感を促し、ひいては地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもつながります。

菊川市では、学校と地域の人々がみんなよく考え話し合い、同じ目標に向かって一緒になって活動していくことを大切にします。令和5年度にはコミュニティ・スクール導入の準備をしていき、令和6年度から岳洋学舎、菊西学舎、菊東学舎の3学舎で同時にスタートさせます。

「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

